

国内グループ会社

ゼオン化成

会社紹介

ゼオン化成株式会社は、1981 年に日本ゼオン株式会社の加工品事業部が独立して発足しました。合成樹脂コンパウンド※1、包装材料、建築材料、各種フィルム、熱伝導性シート、消臭剤、物流資材等の事業を展開し、ゼオングループの加工品分野の中核会社として発展してきました。2012 年 2 月には、グローバル化の一環としてパウダースラッシュコンパウンド※2の中国工場が稼働し、同 7 月に本生産を開始しました。さらに 2013 年には、物流資材である STEC®(ステック) (合成ゴム用コンテナ)のベトナム生産工場が稼働しました。これからも環境とアメニティをキーワードに、幅広い分野で社会に貢献していきます。

※1 合成樹脂コンパウンド
プラスチックに着色料等を分散させたペレット状の製品
※2 パウダースラッシュコンパウンド
金型面で成膜させるための微粒子コンパウンド



小倉由郎社長



ゼオン化成山口工場



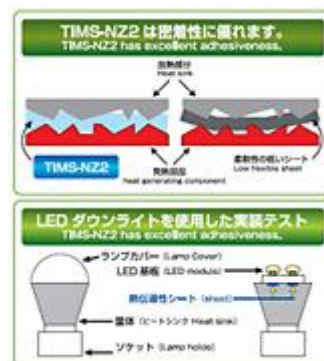
瑞翁化成塑料(常熟)有限公司

環境安全活動

1. 本業を通じた環境安全活動

2012 年から、当社の高熱伝導性シートが大手家電メーカーの LED 照明に採用され、その後も採用社数が順調に増えています。電力消費の少ない LED 照明は、節電対策としてもますます注目されています。

LED 照明の節電効果を発現させるためには、放熱対策が重要です。当社高熱伝導性シートは厚み方向(表面から裏面への垂直方向)の放熱性能、柔軟性、密着性等、総合的なバランスが評価され、採用されました。放熱対策の必要性は照明用途だけでなく、電子機器用途、自動車部品用途と多岐にわたるため、今後の用途展開が期待されています。



2. 環境安全に関する取り組み

夏場の節電対策の一環として、2012 年より茨城工場でグリーンカーテンを事務所棟に設置しており、2013 年度は山口工場でも実施しました。プランターにゴーヤと琉球朝顔の苗を植え、大事に育てました。グリーンカーテンにより日差しがさえぎられて冷房の使用が抑制され、省エネにつながったほか、プランターの世話を通じて従業員の節電意識、エコ意識も向上しました。

またゼオン化成では、2011 年 4 月より全事業所において、埋立処分量ゼロを継続しています。



茨城工場のグリーンカーテン

3. 環境関連データ

ゼオン化成(株)茨城工場		2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	5	7	7	8	7
	使用量(トン)	70	95	61	40	35
	排出量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	530	648	529	446	478
	埋立処分量(トン)	95	69	0.0	0.0	0.0
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		22	34	41	30	29
CO ₂ 排出量(トン)		3,309	4,257	3,845	3,283	3,723
エネルギー使用量(原油換算、kL)		1,992	2,328	2,191	1,807	1,875

ゼオン化成(株)山口工場		2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	3	3	3	3	3
	使用量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	排出量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	187	99	91	57	91
	埋立処分量(トン)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		0.2	0.2	0.2	0.2	0.3
CO ₂ 排出量(トン)		213	231	412	416	410
エネルギー使用量(原油換算、kL)		105	94	147	151	155

地域との共生活動

1. 坂東市さくらまつりに参加

茨城ゼオン化成では 2014 年 4 月 5 日、6 日に坂東市主催の第 5 回坂東市さくらまつりに参加しました。

2013 年度は開花が早まり、葉桜での開催でしたが、今年は開催日に満開となり、大賑わいの 2 日間となりました。また来年も協賛し、地域交流を深められるよう取り組んでいきます。



坂東市逆井城の桜



さくらまつりの様子

2. 「東京駅周辺地区合同パトロール」への参加

ゼオン化成本社では、日本ゼオングループの取り組みとして 2012 年 11 月から東京駅周辺地区の合同パトロールに参加しています。2013 年度は 4 月、9 月および翌 2 月の計 3 回参加し、東京駅周辺のごみ拾いを実施しました。ビニール傘やたばこの吸い殻などとても多くのごみが街の中に落ちており、1 時間でごみ袋が一杯になることもありました。マナー向上を願いながら、今後も活動していきます。



東京駅周辺地区合同パトロール